

KOHGAKUKAI

こう がく かい

《幸楽会だより》

大阪音楽大学同窓会会報

Vol. 5

2004年11月20日 大阪音楽大学同窓会《幸楽会》広報委員会編

2004年《母校での総会》は大盛況!!

3月8日が母校で“楽しい一日”を過ごしました

当日、懇親会にご参加の方々からいただいたご寄付は23万370円でした、ありがとうございました



来年の4月23(土)24日(日)は“ホームカミングデー”(総会は24日)です!!

来年は、母校が創立90周年を迎えます。これを記念して、わが同窓会は4月23日(土)24日(日)の2日にわたり、再び母校で“ホームカミングデー”(祭り)を行います。ザ・カレッジ・オペラハウスを中心に、今年にもまして、賑やかで楽しく有意義な企画が盛りだくさんです。《幸楽会》会員こぞって母校で祝おうではありませんか。☆ 詳細は次ページで

2005年ホームカミングデー“祭り”特集

来年は母校創立九十年を迎えます。これを記念して来年は幸楽会ホームカミングデー「祭り」を母校で盛大に行います。

4月23日(土)

~ 24日(日)の2日にわたって盛大にやります

全員揃そろって 嬉やかに 楽しく 祝おうではありませんか!!

支部交流会

オペラハウス3階
樂屋で、進行は、好評であった今年と同じように、支部の方々の運営によって頂きます。余裕のある時間の中、情報交換などで親しく交流を深めています。

県人会

同郷出身者の在学生と会員が交流して頂き、卒業後も懇親会や支部活動に同心を持つてもらうよう交流して頂くのはいかがでしょうか。在学中の後輩達に幸楽会へ関心を持つてもらい、さらに向いスなど、心の中のケニアやアドバイスなどを頂きました。企画して頂きたいたいものひな祭りです。

学生アンサンブルコンテスト

在学中の後輩達に幸楽会への関心を高めてもらうのに役立つことは、と考え、在学生によるアンサンブルコンテストを企画しました。二〇〇四年度に在学した学生さんたちに参加してもらい、最優秀賞受賞者には、あくる日のメインコンサートに出演してもらいました。

会員有志によるボランティアスタッフ大募集!!

ホームカミングデーを行うには、今年のように幸楽会役員だけではとても手が足りません。受付業務や警備など、一人でも多くのお手伝いのボランティアが必要になります。会員有志のご応募をお待ちしています。幸楽会事務局までお申し出下さい。

タイムスケジュール

23日(土)		24日(日)	
10		10	
11		11	コンサート1部
12		12	昼食
13	博物館見学会	13	総会
14	同期会などもどうぞ	14	コンサート2部
15	学生アンサンブルコンテスト	15	メインコンサート
16		16	
17		17	記念パーティー
18	県人会など	18	
19	24日コンサートリハーサル	19	
20		20	
21			

コンサート出演者募集

二四日の十時から十二時と、一時半から二時半にオペラハウスを使いコンサートを致します。一チーム十五分以内で、セッティング時間も含めます。内容の企画書、曲目出演者、支部からの参加の場合は支局事務局までお問い合わせ下さい。演奏店などもあれば、賑わいもいつそう盛り上がるかもしれません。ただし、応募者多数の場合は抽選となります。詳細については幸楽会事務局までお問い合わせ下さい。楽しい企画をお待ちしています。

模擬店など

まだ詳細は決まっておりませんが、二四日には模擬店などもあれば、賑わいもいつそう盛り上がるかもしれません。ただし、時節柄食べ物はちょっととさせて、余つている楽譜とか、古い楽譜とか、もう着ない、または着れなくなつた?舞台衣装などのガレージセールや、同伴の子供さん達のためにヨーヨーフリーのよくなお店を出してみるのはいかがでしょうか。出店に興味のある方は、とりあえず幸楽会事務局までお問い合わせ、ご相談ください。

いつもとは ひと味違う

樂を拡げる」というフレーズに集約できそうです。この「拡げる」にはいろいろな意味であります。そのいくつかをご紹介すると、まず

いく計画でいます。

総会は 大盛況!!

90周年の年が、「大阪音楽大学」にとつても、その同窓会「幸楽会」にとつても、前向きな新しい一步を踏み出す年になることを何より願っております。

会長の永井讓先生が「いつもとはひと味違う総会に来てみませんか」と呼びかけられた今年4月の総会には、私も参加させていただきました。在

学生たちの演奏があり、音楽博物館など学内施設見学があり、300人を超える同窓の皆さん方が集つた光景は実に壯観でした。「幸楽会のエネルギー」を実感しました。そして来年4月、本学90周年の年には「ホームカミングデー」と銘打って、2日間にわたる大イベントが計画されているとのこと。記念すべき年に、卒業生の方々からも「活気が頂けること」をうれしく思います。

学内ではいま、実行委員会を編成し、「大阪音楽大学が90周年を期して、

西岡 理事長 理事長・学長

西岡 信雄



想親会で挨拶する 西岡理事長

ジを発信する」ための準備を進めています。いろいろ議論をす

る中で、それは「関西から、音

樂を拡げる」というフレーズに集約できそうです。この「拡げる」にはいろいろな意味であります。そのいくつかをご紹介すると、まず

2005年4月から「樂理専攻」と「箏専攻」をそれぞれ「音樂學専攻」「邦樂専攻」に改めます。単に名

称を変えることでなく、そのこ

とによって新しい時代が求める新しい教育領域の拡大を目指しています。また、保健体育系科目を見直すことで、音楽にもっとも近接した領域である舞踊系の講座を充実させることについても、すでに検討チームが発足、今年度内には基本となる具体案が作られる予定になっています。

90周年を期しての、こうした本学の新しい動きを社会に発信するべく、2005年度は年間を通じて、各種公演やシンポジウムなどいろいろな特別企画も準備中です。卒業生の方々もぜひ楽しみにしていてください。その中には、韓国や中国との交流企画も含まれ



【2004年度総会報告】

今までホテルで行っていた総会の出席者は70名ほどでしたが、今年は、総会が約

280名、懇親会は約320名でした。

参加者の方々には、「大学の周囲がとても変わつてびっくりしました」「とても楽しかった」「来

たばかりの「永井幸次記念コンサート」や音楽博物館とオペラハウスの見学会も大好評でした。音楽博物館・オペラハウスは、約150名の方が見学されました。音楽博物館では、4月22日に設置されたばかりの「永井幸次記念コーナー」が人気がありました。

懇親会会場に設置いたしました「幸せの箱」には、約23万円もの寄付金が集まりました。ありがとうございました。

このように大規模な総会は初めてのことでもあり、何かと行き届かないところもあつたことに存じます。総会実行委員会はさつそく反省会を開き、来年の『90周年ホーム・カミングデー』に向けて氣を引き締めました。



四月二十五日に行われた2004年度総会に、私（2001年度卒業）はお手伝いを兼ねて初めて参加させていただきました。ミレニアムホールでの総会には多数の方々が参加され、その後の在学生による演奏会もとても充実した楽しい内容が繰り広げられ、ホールは拍手喝采の大賑わいで「これぞ音大！」といった雰囲気でいっぱいでした。今回は音楽博物館とオペラハウスの見学会も行われました。「学生の時は博物館に行った事なかったけど良かったわー」「P号館も新しくできて、大学の中が変わってる！ビックリ！」という声も聞かれ、刺激的な母校見学ガイド付きツアーだったようです。友人の方々と連絡を取り合って久々に会えて喜んでおられる姿もあちらこちらに見られました。

3時から学生食堂ぱうぜにて会費無料という太っ腹な懇親会が催され、ぱうぜの二階は、長



懇親会で乾杯の音頭をとる景山副会長

い間音楽を愛し、楽しみ、職業とされている方もおられるであろう自信にあふれた紳士淑女の方々でいっぱいになりました。お料理もかなりの種類と量とおいしさでした。今回はパーティーの間中、先生方のジャズカルテットのなんとも豪華なBGMが流れ、お手伝いの私も贅沢な時間を過ごさせていただきました。ピアノの上にワイングラスを置きつつ演奏されたサックスはとても素敵でした。生の音にあふれた総会、大音ならではの楽しい一日でした。皆様、次回をお楽しみに。

平成14年卒 中野彰子



懇親会で挨拶する日名幹事

会員の皆様から寄せられた、ご感想を紹介します

昭和二十三年頃、戦後の鶴橋の闇市を通り抜け、北西へ歩いていくとピアノの音や歌聲が響いてきます。聞こえる方へ進むとそこが味原町の学校でした。永井幸次先生、朝比奈隆先生、中川牧三先生、横井和子先生等のご立派な先生が直接教えて下さいました。永井先生は授業中毎日必ず「この学校を四年制大学にするまでは死ぬ」と涙しながら話して居られました。大正四年の開校当時の話もよくして下しました。入学式に先生作曲の校歌混声四部が講堂に響いた感激は忘れられません。

先日中川牧三先生がご自宅でレッスンなさっている様子をテレビで拝見し、学生時代カバーリアの合唱指導を戴いたことを懐かしく思い出していました。突然、級友の柴田（旧姓田川）照子さんから幸楽会総会で母校に集まろうと電話があり、親切にお世話して下しました。みんな大喜びで参加させて戴きました。立派な大学になり、音楽博物館でのいろいろな楽器に驚きました。思わず手を合わせ「おめでとうございます」と涙が止まり

ました。大正四年の開校当時の話もよくして下しました。入学式に先生作曲の校歌混声四部が講堂に響いた感激は忘れられません。

ませんでした。

総会のあとは歌と、日頃聞く機会のない打楽器の演奏会を楽しませていただきました。北野先生の楽しい指揮と、それに乗った学生の演奏に、私たちも心から感動し、元気をもらいました。九十年代にもぜひ聞かせていただきたいと思います。

「ぱうぜ」での懇親会では先生方が演奏して下さる前でご馳走になり、西岡学長先生も次々と

魅了!! 教員によるJAZZの世界

昭和二十五年卒
吉田（旧姓河西）まり子

私たち卒業生や演奏して下さった学生さんと談笑して下さり一同本当に楽しい一刻でした。準備や案内などいろいろとお世話を担当した先生方は大変だったただろうと感謝致します。九十周年に向けての準備は更にご苦労なことと存じますが、私どもは元気でその日の再会を誓い合いました。



たくさんの方々のご厚意

ありがとうございました



**【幸楽会会長に
再任されました】**

今期に引き続き2004～6年度の幸楽会会長を引き受けることになりました。誠心誠意「幸楽会」のために尽力いたしました。

ます。前年度には幸楽会の活性化を旗印にして色々と画策いたしました。松尾企画委員長の甚大なるご努力を頂いて、2004年4月25日の総会は別記のように自画自賛ながら大成功であつたと確信しています。これは企画もさることながら、多くの方がご参加くださいましたことに意義があつたからであります。

2004～6年度は更なる幸楽会の活性化を目指して努力いたしました。その運動の第一は次回の総会を今年度の倍の規模で実施しようと計画していること、又過年度から実施している推薦演奏会及び幸楽会コンサート（来年2月実施）の更なる充実を図ることになります。これらはすべて卒業者である皆様の日常の活動を有形無形にバックアップ出来ますことを念じつつ実践しています。幸楽会の皆様もこの様な機会を利用いただきて心の

豊かさを増幅して頂ければ幸いです。特に予定しております2005年4月24日の総会（オペラハウスで実施予定）には同期の仲間をお誘い下さいまして久し振りの大学を味わってください。大阪音楽大学でお待ちしていま

す。

幸楽会会長 永井 譲



総会で挨拶する 永井会長

【支部交流会】

昨年までは「支部長会」という名で開催されておりましたが、皆さんの声の中で「個々の報告会にとどまらず、会員同士がもう少しちゃんと支部の悩み、また本部や学校への要求などを言える場所が欲しい」というご意見があり、今年度の会を「支部交流会」と名づけ、会場もミレニアムホールでおこないました。初回といふことで本部から座長の要請が

ありました。途中から永井会長や西岡学長にお入りいただき和やかな雰囲気の中、有意義な話し合いができたと思います。

終了後皆様から「支部主導の形がよかったです」「母校で開催したのがよかったです」「大学の行事やコンサートのビデオ放映をしたら?」「博物館の見学をしたかった」「お互

いの顔がよく見えるよう工夫して欲しい」「学生に幸楽会の存在を意識させて欲しい」「事前に各支部の抱える課題や問題点を資料として配布するのも良いのではないか?」「各支部間でメールのやり取りができるべきだ」などたくさんのご意見をいただきました。

会長	永井 譲	幹事	山本令子	幹事	林 誠	幹事	井上敏典
副会長	景山伸夫	幹事	竹内良治	幹事	塙津洋子	幹事	北村美奈子
会計	矢野蓉子	幹事	田村利子	幹事	北野 徹	幹事	田中 勉
事務局長	水谷雅男	幹事	堀 陽	幹事	草野道広	幹事	飯守伸二
会計監査	柏木義臣	幹事	小山雄司	幹事	坂口栄里	幹事	澤井宏仁
会計監査	上田千鶴子	幹事	日名弘見	幹事	梶山拓也	幹事	野間直子
各委員長	△	幹事	梶谷正治	幹事	岡 昇	幹事	上田利佳子
総務・組織	山口宏美	幹事	阪上和夫	幹事	徳弘博子	幹事	井内純一郎
企画事業	松尾昌美	幹事	坂下百合子	幹事	阪本朋子	幹事	武田真恵
広報	水谷一郎	幹事	赤松二郎	幹事	横川久美	幹事	片岡リサ
財務	矢野蓉子	幹事	八田 悟	幹事	湯浅 契	幹事	中野彰子

新役員・委員のメンバーです。
2004年より2006年の3年間
幸楽会の発展に務めます。

三重支部支部長 福嶋正俊

ております。次回の幹事支部は関東支部と北海道支部になつております。よろしくお願ひいたします。

2004年度予算

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
会費収入	15,075,000	事務局費	6,938,000
事業収入	1,125,000	総会費	1,500,000
その他(預金利息他)	22,000	役員会費	268,000
前年度繰越	116,730,596	予備費	38,000
		事業費	3,953,000
		母校会員援助金	4,255,000
合計	132,952,596	合計	16,952,000

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
会費収入	15,450,000	事務局費	7,179,286
事業収入	1,209,500	総会費	786,999
その他(預金利息他)	32,391	役員会費	269,767
寄付(援助金へ)	755,000	事業費	7,110,049
前年度繰越	119,678,756	母校会員援助金	5,048,950
合計	137,125,647		20,395,051
		次年度繰越金	116,730,596

2003年度収支

2004年度推薦演奏会報告 推薦演奏会は

今年も7月18日オペラハウスで開催されました。今年は第五十回の演奏会であることを記念して、今までにこの演奏会に教え子を推薦くださり、しかもオーディションを勝ち抜いて入賞された方を多く排出されました。3名の指導者（過去20年間に10名以上）の方を表彰させていただきました。演奏会は小4名（12名）高校生8名（19名）中学生5名（応募者18名）高校生8名（19名）支部推薦4名 計21名の出演者で開催され、それぞれに金・銀・銅賞受賞者を選出し授与しました。演奏内容で特筆すべきことは、毎年のことですが出演者の演奏レヴェルは将来本学学部レヴェル或いはそれよりも高い能力を持つた方たちです。今年は特にその事を強く感じ、審査員が思わず『この人たちが皆本学に来てくれたらしいのにね』と本音を漏らすほどでありました。今年は例年なく技術度もさることながら音楽性豊かな演奏を聞かせてくれて、銅賞を頂

いたいたいた結果となりました。今年も7月18日にオペラハウスで開催されました。今年は第五十回の演奏会であることを記念して、今までにこの演奏会に教え子を推薦くださり、しかもオーディションを

推薦

演奏会は

けなかつた方も近差で涙を呞んでいたいたいた結果となりました。

審査する私たちにとりましても音楽性で勝負して来る出演者の姿は大変嬉しいことであります

ありたいと望む次第です。この推薦演奏会は50年の歴史があり多くの音楽を志す方のご参加を

頂きました。私の知る限りでも、かつての入賞者で今中堅の音楽

指導者となつて活躍されている

方も多くおられますし、また演奏家として世界に羽ばたいている方もおられます。ただ一寸残念なことは、このコンサートの

レヴェルが大阪音大を通り越してるので多くの方が東京志向です。しかし考えてみれば、このコンサートの出演条件は幸楽会員即ち大阪音大の卒業者が指導した18歳までの者でありますから、出演者たちは皆幸楽会員が育てた若者であり、これこそが育てた若者であり、これこそ

その一端をこのコンサートで見ることが出来るというものであ

ります。そのようなことを念頭においてこのコンサートのレヴ

エルを高く保持すべく、審査いたく方を、現在指導の面で経験豊富な方、またトップレヴェルの音楽コンクールの審査に当たっておられる幸楽会員にお願いしています。指導者としてご活躍の皆さん、推薦演奏会のためのオーディションも公開しています。審査員のコメントもお返しするシステムで行っていますので次回以降是非ご指導されている生徒さんの参加をお勧めください。きっと有意義な結果に繋がることと信じます。

2004年度審査委員長
永井 譲

推薦演奏会 演奏者の感想

今回で2回目となる推薦演奏会に、出場させていただけて本当にうれしく思いました。音楽という素晴らしいことを改めて実感させてくれる、オペラ・ハウスで大好きな曲を皆さんに聞いていただき、さらに金賞を受賞した喜びと感動が、今でも脳裏に焼き付いています。昨年は奨励賞という結果に終わりましたが、今尚反省しきりであり悔しさが何時までも途絶えることはなかった、辛かったです。しかし自分はやはり音楽が好きなんです。今年高校最後の年にオペラ・ハウスで演奏したいと強く思い大阪オーディションを受けました。本選では伴奏とピアノ・ソロの二曲弾くことになりましたが、その不安より弾く事の喜びのほうが大きく思いました。僕が本格的にピアノを始めたのは中学一年生の時でした。ピアノを習い始めるのは小さい頃が主流だと思います。遅れをとっている分努力しました。振り返ると小学生中学生の途中までは野球をしていましたが、身体の故障で好きな野球を断念せざるを得なくなりました。そのときはショックでしばらくは立ち直るのに長い時間がかかりましたが、両親のやさしい愛情に支えられて、次の希望となるピアノと運命的な出会いがありました。今となっては音楽の世界にはいって本当に良かったと思います。まだまだ限りない才能に挑戦して、人々に夢と感動を与えてみたいと思っております。

高3 上原慎太郎



ピアノ金賞 上原慎太郎さん



マリンバ金賞 岩見 珑奈さん

オーディション参加者の感想

この前はぼくのえんそうを聞いてくださってありがとうございました。すごくきんちょうして、しんぞうが飛び出してきそうでした。今回は、野球やテレビゲームをがまんしてたくさん練習したのに心臓がドキドキしきて、いつもどおりにひくことができませんでした。まわりの子を見てもあまりきんちょうしているように見えなかつたので「女の子って強い」と思いました。来年は勉強もいそがしくなるから、オーディションを受けるかどうかわからないけど、がんばってたくさん練習しておきます。しんぞうも強くしておきます。ありがとうございました。

匿名希望

幸

樂会推薦演奏会は今年で
第五十回を迎えるました。

それを記念して過去20年間で16
回入賞者を推薦してくださいました。

た、山本令子さんと10回入賞者

を推薦してくださった金子園さ

んと安孫子総子さんを表彰す

ることになりました。安孫子さ

んは故人となつておられます

ので、お二人に表彰状と記念品

をお渡しいたしました。表彰式

のあとお一人にお話を伺いました。

【山本令子さん・金子園さん】

五十年前は朝日会館でやつ

ていきました、今ではオペ

ラハウスで演奏できるようにな

り、生徒の憧れになつていています。

賞をいただいた生徒があまり音

大に入つていなければ、推薦

演奏会をスタートとして、給賞

留学生になつて外国で勉強した

り、リサイタルをするなど活躍

している。出演した人は皆音楽

のとりこになり、音楽で身を立

審査結果

最優秀賞	該当者なし	
金賞	ピアノ	小6 具歩美
	ヴァイオリン	中1 坂東真奈実
	マリンバ	高2 岩見玲奈
	ピアノ	高3 上原慎太郎

銀賞	ピアノ	小3 築山苑佳
	ピアノ	小6 藤原泰斗
	ピアノ	中2 平野薰梨
	声楽	高3 船越優
	クラリネット	高2 吉田誠
銅賞	ピアノ	小5 秦朋子
	ピアノ	中1 井原ひかり
	フルート	高2 加藤佳奈子
	ピアノ	高2 服部真由子

幸楽会コンサートは、私たち音楽大学卒業生同窓会の事業として、最も中心となるものだと思っています。しかし昨今、このコンサートの入場者数が、充実した演奏内容の割には、あまりはかばかしくありませんでした。それを挽回するため、昨年から、演奏会の内容に企画性が見えるようにすることを考えました。2月に行われた「プロコフィエフの夕べ」は久しぶりに入場者が多く、事務局の皆さんもうれしい悲鳴を上げました。今回も「プロデュースシステムによる“モーツアルトの夕べ”」という新しい企画を考えました。両日ともオーディションによって選考された方が出演されます。幸楽会主催演奏会の活性化のためにも、是非ともご来場下さい。

今年8月16日開催の同窓会は全員が還暦を迎えたことで

ます。今まで、住所不明者や亡くなられた方々もあり、34年入学同窓会としておりました。35名の出席がありま

る。推薦した生徒が皆音楽を続けていることは、指導者冥利に尽き本当に幸せに思います。お世話になります。

【還暦同窓会】

大阪音楽大学付属音楽高校の昭和34年入学年度は2クラスありました。毎年度クラス替えがあったので一度

3年ごとに行つてきました。在学途中で転・退学された方々もいるので、あえて昭和3年ごとに行つてきました。

幸子先生はじめ12名の方々が演奏しました。名演奏に拍手喝采したり、全員で合唱したりで大変盛り上がった同窓会となりました。



表彰される 山本令子さん(中央) 金子園さん

幸楽会コンサート予告

第38回 幸楽会コンサート in 2005

第一夜

プロデュースシステムによる“モーツアルトの夕べ”

開催日時 2005年2月8日(火) 午後7:00開演

開催場所 ザ・カレッジ・オペラハウス

モーツアルトの作品を演奏する管・弦楽の室

内楽、及びピアノ・声楽を伴う室内楽

第38回 幸楽会コンサート in 2005

第二夜

【ジョイント・コンサート】

開催日時 2005年2月9日(水) 午後7:00開演

開催場所 ザ・カレッジ・オペラハウス

作曲・声楽・ピアノ・管・弦・打楽器

邦楽器・各種アンサンブル(編成は自由)

もあり、60歳の手習い音楽会と銘打って行いました。出席者は26名あり、そのうち、現役で活動している方や近年趣味で復活

還暦同窓会のご案内

その後皆様いかがお過ごしでしょうか。前回の同窓会から早や8年が経とうとしています。8年前にお約束しました還暦の年の同窓会を実現したいと考えております。本来なら節目の10年目位が適当と思われるのですが、還暦という記念すべき年での再会も何か意味があるのではと思われます。今回はホテルの一室を借りてというよりも、何十年ぶりかの母校訪問を兼ねて母校の姿を見ていただくということ、幸楽会の協力を得ましていろいろな企画をまじえて実現することも意義深いものになるのではと思われます。企画の内容は後日のお楽しみということで、8年ぶりの再会、前回都合で参加されていない方は久しぶりの再会を楽しみに、皆様方多数参加されることを期待しております。

日時：2005年4月24日（日） 10時～

場所：大阪音楽大学

[エクステンションセンターから幸楽会会員の皆様へ]

◆ 求人（企業）求人情報検索システム

エクステンションセンターではさまざまな進路（就職）情報をホームページ上で公開、情報提供しています。

求人票は在学生・卒業生にのみ公開しますのでアクセスするにはIDナンバーとパスワードが必要となります。

将来的には希望者に対して個別のパスワード、IDナンバーをお渡しする予定ですが、しばらくは次のパスワードをご使用ください。（IDナンバーも同じ）

パスワード&IDナンバー：EXshinro

※詳細については大阪音楽大学エクステンションセンターにお問い合わせください。

【事務局より皆様へ】

広報委員会

報委員会のご尽力により、幸楽会だより、第4号をお届けすることができ嬉しく思います。編集に携わる役員の方々にはいつもご苦労をおかけしています。会長、副会長をはじめ、総務組織委員会、企画事業委員会、広報委員会、財務委員会、会計監査他のご協力をいただき、幸楽会事務局は堅実に順調に運営されていますことをまずお伝えします。年代を問わず卒業生の皆様にとりまして“ふるさと”の幸楽会であることを念頭に務めさせていただいているります。そのため常任幹事、役員の皆様は本会のさらなる繁栄を願いつつ会議を重ねてきました。前回の幸楽会便りでは、「まだ、大きな形としては見えにくいかもしれません、いろいろな整備が確実に行われています。」とお伝えしました。しかしそれが具体化され、今年4月の2004年度総会を中心とする行事の実現につながりました。

総会のみならず音楽博物館やザ・カレッジ・オペラハウス（永井幸次記念講堂）の見学、さらには在校生によるオペラコンサート、打楽器オーケストラの演

奏など、いろいろ趣向を凝らした結果、320名もの出席を得ることができました。例年は70名～80名の出席ですのでこの違いを認識していただけると思います。

また今回より「支部長会」は「支部交流会」と改め、支部長以外の方々にもご出席いただけようになりました。議事進行は幹事支部がこれを起こない、今後も輪番制で継続していくことになりました。西岡学長にも

ご出席いただき、支部からの要望や質問に対し丁寧に答えていただきました。2004年度総会は初めての経験ばかりでしたが、松尾企画事業委員長の陣頭指揮のもと、役員やボランティアの若い会員が一体となって実現に向け取り組みました。今回の経験をふまえ、母校創立90周年総会ホームページミーティングデーの準備を

今からすすめていきたいと考えておりますので、ご意見やご提案などありましたら事務局にお寄せください。

なお、常に大学からはご厚意をいたしておりますが、今回の一連の行事には特に多くのご協力、ご支援を受けております。ここに厚くお礼申し上げます。

事務局長 水谷雅男

大阪音楽大学同窓会《幸楽会》

〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8

TEL 06-6334-2832(直通) 06-6334-2131(大学)

FAX 06-6336-9834 E-mail kougaku@osk3.3web.ne.jp

幸楽会 HP URL <http://www3.osk3.3web.ne.jp/~kougaku/>

大学 HP URL <http://www.daion.ac.jp/>

(リンクしていますので大学のHPからもアクセスできます)

[事務局よりお願い]

在事務局では会員の住所管理を大学と協力して行っております。幸楽会だよりの発送は宅配便にしているため、ご住所の変更を事務局へ届けていただかない限り、お手元に届かなくなります。お手数ですがご住所やお名前の変更があった場合は、事務局までお知らせ下さい。また、お知り合いの方で幸楽会だよりが届いていない方が居られましたら、ご連絡下さい。